



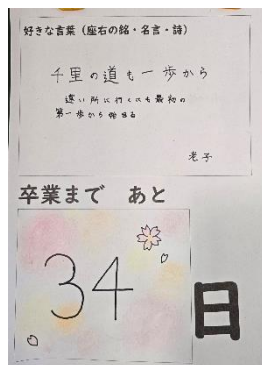
開校150周年
明治7年開校
旭麓

おい



大井小150周年記念
キャラクター「サニーちゃん」

《学校の教育目標》 仲よくする子 考える子 たくましい子



「1年のまとめと次年度への準備」

抜井 由美子

6年生の教室に卒業までのカウントダウンカレンダーが掲示されています。1月30日現在、あと34日だそうです。児童の好きな言葉も書かれています。6年生は減っていく1日1日を見ながら、どのような気持ちで過ごすのでしょうか。地域や保護者の皆様のお力添えのお陰で児童たちも成長してきました。感謝申し上げます。

1月末には、新1年生保護者の入学説明会が終わりました。児童たちの様々な活動も次年度へのバトンを渡す内容に変わってきています。5年生をリーダーとした縦割り活動、来年度に入るクラブを決めるための放送でのクラブ紹介やクラブ見学、5、6年生は卒業式の歌の練習も始めています。1つ1つのことが終わるとともに、次へのスタートになります。

この時期に大事なことは、自分はこの1年間でどこがどのように成長したのかを自分自身で考えることです。次の成長のためには、自分の課題点を把握する必要があります。まとめの時期は、2通りの児童の姿が見られます。気を引き締めさらに自分自身を伸ばそうとする姿の児童と終わりが見えると気が緩んでしまう姿の児童です。2月はちょうどそのような児童が見られる時期でもあります。

全体を見ると、1年生はひらがなの学習からスタートしましたが、今では漢字も覚えて長い文章も書けるようになりました。以前は教員が指示して活用していた1人1台端末（タブレット）は、どの学年も児童が主体的に、効果的に日常で使っています。AIドリルで学習内容の定着、連絡等の手段としても児童の発達段階に応じて様々なツールとして利活用しています。その進歩は驚くほど凄いです。どのようなことも成果と課題はあります。それらをしっかりと捉えて、成果はさらに質を高めるように、課題は成果につながるように工夫していくことが大切であると考えます。

学校は、教育課程という学校教育の目的や目標を達成するために児童の心身の発達に応じて編成する教育計画を見直す時期です。学校行事、日課表等学校の特色を生かした内容に編成します。変化の激しい社会ですが、教育における「不易と流行」（不易とは時代を超えて変わらない価値のあるもの、流行とは時代の変化に応じて変えていく必要がある価値のあるもの）を考慮しながら次年度の準備をしています。引き続きご協力をお願いいたします。